

2022年度

# 学校関係者評価報告書

実施日：2023年 3月 23日（木）

学校法人斐川コア学園

出雲コアカレッジ

## 学校関係者評価委員会

1. 開催日時 2023年 3月 23日 (木) 10:00~11:00

2. 開催場所 出雲コアカレッジ 多目的室

3. 出席者 (敬称略)

氏 名	役 職
伊 藤 繁 満	出雲市議会議員
小 山 峰 明	島根県立情報科学高等学校 前校長
陰 山 篤 也	斐川町商工会 事務局長
持 田 幹 男	NPO法人ビジネスサポートひかわ 事務局長
高 橋 敦	出雲コアカレッジ 父母等代表
松 浦 広 枝	出西保育園 園長
山岡 雄一郎	校長
舟 木 賢 治	副校長・こども福祉科学科長
勝 部 葉 子	事務長
佐々木 和歌子	医療ビジネス科・情報システム科学科長

4. 次第

- (1) 開会 (挨拶、配布資料確認)
- (2) 2022年度状況報告
- (3) 質疑応答、助言
- (4) 学校関係者評価表記入

## 5. 学校関係者評価結果

評価は4段階

適切…4    ほぼ適切…3    やや不適切…2    不適切…1

評価項目		評価点の平均
1 教育理念・目的		
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4.0
2	学校における職業教育の特色は示されているか	3.8
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.3
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.3
5	各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.5
2 学校運営		
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.7
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.7
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.5
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	2.7
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.2
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.7
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.3
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.5
3 教育活動		
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.5
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.7
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.7
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.7
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.3
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.7
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.7
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.5
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.8
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.8
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.5

評価項目		評価点の平均
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3.3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.2
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.2
4 教育成果		
1	就職率の向上が図られているか	3.7
2	資格取得率の向上が図られているか	3.8
3	退学率の低減が図られているか	3.2
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.0
5 学生支援		
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.8
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3.7
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.5
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.7
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.5
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3.5
7	保護者と適切に連携しているか	3.8
8	卒業生への支援体制はあるか	3.0
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.3
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.2
6 教育環境		
1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.0
2	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3.3
3	防災に対する体制は整備されているか	3.5
7 学生の募集と受け入れ		
1	学生募集活動は、適正に行われているか	3.0
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.0
3	学納金は妥当なものとなっているか	3.7
8 財務		
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.0
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.2
3	財務について会計監査が適正に行われているか	3.5
4	財務情報公開の体制整備はできているか	3.3

評 価 項 目		評価点 の平均
9	法令等の遵守	
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.3
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.7
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.3
4	自己評価結果を公開しているか	3.5
10	社会貢献	
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.3
2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3.3
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3.3

## 6. 意見等

- ・多くの卒業生が地元就職しており、地域に貢献している
- ・県外就職についても、地元支店がある企業が多く、将来的には地元貢献をしてほしい
- ・出雲はIT企業が多く、本校も企業連携が盛んであるのでPRすべき
- ・「チーム出雲」からの支援など、地元企業との連携は大事なこと
- ・長期のインターンシップの計画があるとよい  
内定後にその会社へインターンシップに出かけ、実践的な学びができるようにしてほしい
- ・情報処理安全確保支援士に1名合格（本校初）について、かなりの難関試験合格は素晴らしい  
情報処理技術者試験のレベル区分で最高峰であり、高校にPRしてほしい  
新聞にも掲載をしてもらおうとPRになる
- ・卒業研究発表では、多くの作品がRubyを使用しており、地元発のプログラムを大切にしている印象  
島根県の情報系企業の多くがRubyを使用しているので即戦力に繋がる教育がなされている  
校内で最優秀賞をとった発表は、Rubyスキルのレベルアップが図れるゲームで、このソフトを高校に紹介し連携を推進することによって島根のIT産業の活性化にも繋がるのではないかと
- ・ETロボコン4年連続全国大会出場、医療事務技能審査試験教育優秀校4年連続表彰などを高校にPRし  
学生募集につなげてほしい
- ・資格取得について高い合格率を維持している（学生評価も高い）
- ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、地域に対する公開講座など地域にもっと  
コアカレッジの存在をPRしてほしい
- ・こども福祉科の学生数確保が課題であるが、子育て世代へのリスクリングを検討してみてはどうか  
「学び直し」の場としての出雲コアカレッジの構想
- ・教職員の待遇改善を図り、魅力ある講師、学科にしていく必要がある
- ・教員のスキルアップ研修の時間を確保できるようにすべき
- ・県外の専門学校に行かなくても地元で魅力あるカリキュラムを学べるようにしてほしい
- ・卒業後の1年間はフォローアップしてほしい

## 7. 学校の見解

- ・ 自己評価同様に学校関係者評価も全体的に昨年度より低い結果となった
- ・ 今年度は、Wi-Fi環境整備やLED化工事など施設整備を行い、パソコン用モニターやプロジェクター購入など設備の充実も図ったが、「教室数が足りない」「教室が狭い」といった課題に向き合わなければならず、この課題の解決を図らなければ、自己評価は低いままであり学校として致命的である

### →新教室増設にむけて本格的に動き出す方針

- ・ 学生数確保は常に課題であり、今回の委員会での意見を踏まえた教育活動および広報活動に取り組む
- ・ 教職員の資質向上への評価が低い点について、外部研修参加等スキルアップを目指す
- ・ 同じく評価が低かった卒業後のフォローについて、学内で検討をすすめ取り組む
- ・ ETロボコンやIT講習会でチーム出雲加入の企業との連携は毎年恒例となっているが、卒業研究でも情報システム科の少なくとも1チームは、企業とコラボした内容の実施を推進する
- ・ 授業や学校生活に悩みを抱える学生の問題をいち早くキャッチできるように個人面談の頻度を上げる
- ・ 1人で休憩できる場所の確保や保護者との連携を強化し、退学防止に努める